

CINEMA PLACET 1981 PRESENTS

清順流フィルム歌舞伎

かげろうざ 陽炎座

12月5日(土)～

LATE SHOW!

上映時間 連日、PM9:00(終演PM11:25)

渋谷パルコ・シネマプラゼット
オリンピックプール前 TEL. 464-8386

TAISHO
1926
TOKYO

松田 優作
大楠 道代

加賀 まりこ

楠田 枝里子

大友 柳太朗

東 恵美子

磨 赤児

沖 山 秀子

生川 伊佐男

佐野 義夫

伊藤 弘子

佐藤 B 作

原田 芳雄

中村 嘉律雄

製作 荒川敏太郎

企画 伊東 謙二

プロデューサー 花田 良知

原作 泉 鏡花

脚本 田中 陽造

撮影 永塚 一策

美術 池谷 仙克

照明 大西英治

録音 橋本 文雄

音楽監督 岡 譲

監督協力 森生 雅美

音楽 幸羽 豹七

美術協力 西田 章

編集 森本 映

監督 鈴木 清順



CINEMA PLACET

NIPPON HERALD FILMS, INC. 配給

金沢、夕月楼にてお待ち申し候

解説

「ツイゴイネルワイゼン」で、キネマ旬報ベストテン第一位をはじめ、国内の数々の賞を総なめにし、ベルリン映画祭でも審査員特別賞をさらってみせた、シネマ・プラセット(制作) 鈴木清順(監督)のコンビが、さらにその製作規模をスケールアップ、さらにその華麗にして不敵な映像世界を満開させて放つ大作、それがこの「陽炎座」(かげろうざ)。

時は大正末年の一九二六年。松崎という新派の劇作家が、たび重なる偶然によって知りあつた品子という謎の美女の誘ひにたぐり寄せられて、女たちの魔性の愛と憎しみの世界に踏みこみ、木の葉のように翻弄されながら、現世ともあの世とも

清順美学、絢爛とここに満開!

物語

大正末年の一九二六年。東京。新派の劇作家松崎春孤(松田優作)は、落とした付け文が縁で品子(大楠道代)という美女と知りあい、偶然というにはあまりにも出来すぎたかたちで三度あう。

松崎は、その不思議なパトロンである玉脇(中村嘉律雄)に話すが、ある夜品子と一夜をすごした部屋が玉脇の邸宅の一室とそっくり同じであることを発見した松崎は、品子が玉脇の妻ではないか、という疑念にとりつかれる。ところがそんな松崎の前にもう一人の美女イネ(楠田枝理子)が現われ、「玉脇の家内です」と名乗る。しかし奇怪なことに、イネは重い病気で、松崎と出会う前に病院で息をひきとっていた。

松崎の下宿先の女であり、かつて玉脇の屋敷に奉公していたお加賀まりこは、品子が先妻であり、イネは玉脇が留学先のドイツから連れてきた後妻のドイツ娘のイレーネであることを説明したが、この女の腹も、松崎には読めない。

金沢、夕月楼にてお待ち申し候、という品子からの手紙に誘いだされた松崎は、北陸行きの汽車に乗るが、玉脇もまたその汽車に乗っていた。「金沢の夜叉ヶ池まで亭主持ちの女と若い愛人の心中をみにゆく」玉脇の言葉も謎めいている。

つかぬあやかしの世界をさまよひ歩くという物語。泉鏡花の同名の原作を田中陽造が脚色した。長い不遇を経て「ツイゴイネルワイゼン」で不死鳥のように甦つた鈴木清順監督が、大正風俗を背景に生者と死者の交錯という得意の世界を得て、奔放華麗な色彩美と意表をついた映像を躍動させる。まさに、「清順流フィルム歌舞伎」の醍醐味が横溢である。

キヤメラは、清順作品の名コンビである永塚一栄、美術を池谷仙克(海潮音)、照明を大西美津男、音楽は河内紀の担当で、演奏をモダンジャズ界の異才富樫雅彦が行なっている。

(シネマ・プラセット作品)

金沢でめぐりあえた品子は、松崎に手紙を出した憶えはないという。「あれは夢の中で書いたもので、お伊ネさんが手紙にしたのです」

品子との心中をそのかす玉脇から逃れた松崎は、アナキスト和田(原田芳雄)と知りあい、老人形師(大友柳太朗)のもとで博多人形裏返えしの世界を覗く。松崎は死後の世界を目撃して衝撃をうけ、迷宮をさまい、夢うつつのなかでイネと会う。

そして、幻聴のような祭ばやしにみちびかれて奇妙な芝居小屋、陽炎座へ。そこは、子供たちの不思議な芝居と、品子、イネ、玉脇と妖しい人間関係がからみあうあやかしの世界。そして陽炎座は松崎の目の前で崩壊し、夜叉ヶ池には、玉脇、品子の心中死体が浮かび上る。

魂をうばわれた人間のように東京に帰った松崎のもとに品子からの手紙が届いていた。

うたた寝に

恋しき人を

見てしより

夢てふものは

頼みそめてき

CINEMA PLACET 上映ラインアップ

CINEMA PLACET 1981 PRESENTS
清順流フィルム歌舞伎
かげろうざ
陽炎座

松田優作・大楠道代・加賀まりこ
楠田枝理子/原田芳雄・中村嘉律雄

〈カラー作品〉35mm スタンダード 2時間19分
11:30 2:10 4:50 7:30 当日1,500円
前売り1,300円

ぴあ シネマブティック第32弾
「SHUFFLE」ロードショー+1

原作/大友克洋 脚本・監督/石井聰互 音楽/ヒカシュー
出演/中島陽典 1981年 タイタマイト・プロ作品 16mm モノクロ・35分

ブラッスワン スケジュール	11(金)/12(土)	11(金)/12(土)	石井聰互
5(土)/6(日) 闇のカーニバル	山本政志	13(日)/14(月) 風たちの午後	矢崎仁司
7(月)/8(火) ブランキック公三	碓氷 明	15(火)/16(水) ノット・サティスファイド	太田達也
9(水)/10(木) トランジスタラブ 骸骨胎児	緒方 明	17(木)/18(金) 豚鶏心中	松井良彦
東京白葉関K者			

シャッフル 12:00 2:40 5:20 8:00 当日1,000円
ブラッスワン 12:45 3:25 6:05 前売り800円

岡本喜八監督作品
近頃なぜかチャールストン

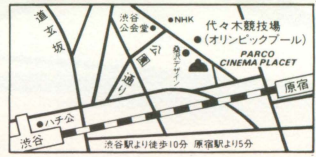
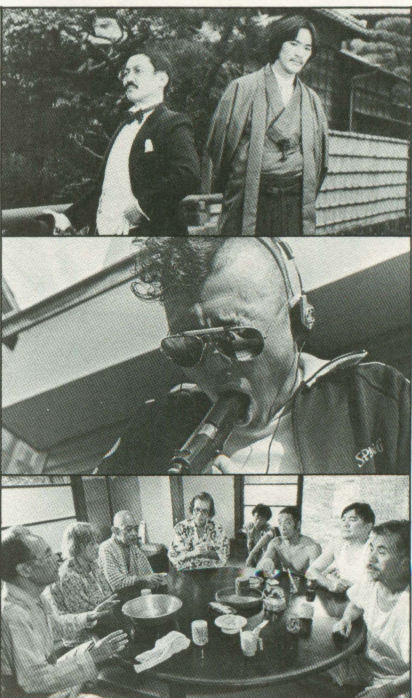
〈モノクロ作品〉 35mm・スタンダード 上映時間 1時間56分 喜八プロ/ATG提携作品
利重 剛・古館ゆき・財津一郎・田中邦衛・小沢栄太郎

12:00 2:10 4:20 6:30 当日1,500円 前売り1,300円

清順流フィルム歌舞伎
かげろうざ
陽炎座

上映時間 連日、P.M.9:00(終映P.M.11:25)
(SHUFFLE、近頃なぜかチャールストン終映後)
当日1,500円 前売り1,300円

LATE SHOW!



渋谷 パルコ・シネマ・プラセット